

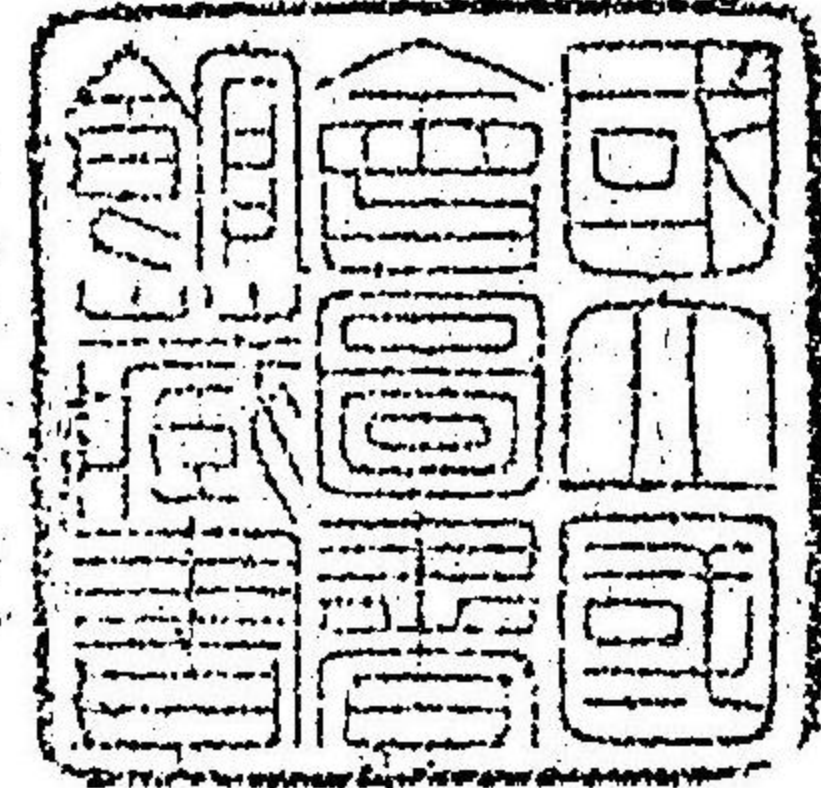
有用植物圖說解說原稿

W392
10

有用植物圖說草稿

明
崇禎二年二月一日

W392
10



417.-4

698593

二種 事種 身種 形種 地種 色種 水田 田 田 田

モネ モネ

○ 田 田 田 田 田 田 田

田 田 田 田 田 田 田 田

田 田 田 田 田 田 田 田

田 田 田 田 田 田 田 田

田 田 田 田 田 田 田 田

田 田 田 田 田 田 田 田

田 田 田 田 田 田 田 田

田 田 田 田 田 田 田 田

田 田 田 田 田 田 田 田

田 田 田 田 田 田 田 田

田 田 田 田 田 田 田 田

田 田 田 田 田 田 田 田

田 田 田 田 田 田 田 田

田 田 田 田 田 田 田 田

田 田 田 田 田 田 田 田

田 田 田 田 田 田 田 田

田 田 田 田 田 田 田 田

田 田 田 田 田 田 田 田

田 田 田 田 田 田 田 田

田 田 田 田 田 田 田 田

田 田 田 田 田 田 田 田

田 田

田 田

田 田

五廿六の(三) (四) 穂穂の(五) 穂穂の(六) 穂穂の(七) 穂穂の(八) 穂穂の(九) 穂穂の(十) 穂穂の(十一) 穂穂の(十二) 穂穂の(十三) 穂穂の(十四) 穂穂の(十五) 穂穂の(十六) 穂穂の(十七) 穂穂の(十八) 穂穂の(十九) 穂穂の(二十) 穂穂の(二十一) 穂穂の(二十二) 穂穂の(二十三) 穂穂の(二十四) 穂穂の(二十五) 穂穂の(二十六) 穂穂の(二十七) 穂穂の(二十八) 穂穂の(二十九) 穂穂の(三十) 穂穂の(三十一) 穂穂の(三十二) 穂穂の(三十三) 穂穂の(三十四) 穂穂の(三十五) 穂穂の(三十六) 穂穂の(三十七) 穂穂の(三十八) 穂穂の(三十九) 穂穂の(四十) 穂穂の(四十一) 穂穂の(四十二) 穂穂の(四十三) 穂穂の(四十四) 穂穂の(四十五) 穂穂の(四十六) 穂穂の(四十七) 穂穂の(四十八) 穂穂の(四十九) 穂穂の(五十) 穂穂の(五十一) 穂穂の(五十二) 穂穂の(五十三) 穂穂の(五十四) 穂穂の(五十五) 穂穂の(五十六) 穂穂の(五十七) 穂穂の(五十八) 穂穂の(五十九) 穂穂の(六十) 穂穂の(六十一) 穂穂の(六十二) 穂穂の(六十三) 穂穂の(六十四) 穂穂の(六十五) 穂穂の(六十六) 穂穂の(六十七) 穂穂の(六十八) 穂穂の(六十九) 穂穂の(七十) 穂穂の(七十一) 穂穂の(七十二) 穂穂の(七十三) 穂穂の(七十四) 穂穂の(七十五) 穂穂の(七十六) 穂穂の(七十七) 穂穂の(七十八) 穂穂の(七十九) 穂穂の(八十) 穂穂の(八十一) 穂穂の(八十二) 穂穂の(八十三) 穂穂の(八十四) 穂穂の(八十五) 穂穂の(八十六) 穂穂の(八十七) 穂穂の(八十八) 穂穂の(八十九) 穂穂の(九十) 穂穂の(九十一) 穂穂の(九十二) 穂穂の(九十三) 穂穂の(九十四) 穂穂の(九十五) 穂穂の(九十六) 穂穂の(九十七) 穂穂の(九十八) 穂穂の(九十九) 穂穂の(百)

③ 才あまの(四) 粟

手本利(一) 之(二) 上(三) 陸(四) 白(五) 洲(六) 外(七) 野(八) 稗(九) 方(十) 寸(十一) 吉(十二) 七(十三) 子(十四) の(十五) 穂(十六) 形(十七) は(十八) ア(十九) ハ(二十) の(二十一) 一般(二十二) 穂(二十三) 穂(二十四) 穂(二十五) 穂(二十六) 穂(二十七) 穂(二十八) 穂(二十九) 穂(三十) 穂(三十一) 穂(三十二) 穂(三十三) 穂(三十四) 穂(三十五) 穂(三十六) 穂(三十七) 穂(三十八) 穂(三十九) 穂(四十) 穂(四十一) 穂(四十二) 穂(四十三) 穂(四十四) 穂(四十五) 穂(四十六) 穂(四十七) 穂(四十八) 穂(四十九) 穂(五十) 穂(五十一) 穂(五十二) 穂(五十三) 穂(五十四) 穂(五十五) 穂(五十六) 穂(五十七) 穂(五十八) 穂(五十九) 穂(六十) 穂(六十一) 穂(六十二) 穂(六十三) 穂(六十四) 穂(六十五) 穂(六十六) 穂(六十七) 穂(六十八) 穂(六十九) 穂(七十) 穂(七十一) 穂(七十二) 穂(七十三) 穂(七十四) 穂(七十五) 穂(七十六) 穂(七十七) 穂(七十八) 穂(七十九) 穂(八十) 穂(八十一) 穂(八十二) 穂(八十三) 穂(八十四) 穂(八十五) 穂(八十六) 穂(八十七) 穂(八十八) 穂(八十九) 穂(九十) 穂(九十一) 穂(九十二) 穂(九十三) 穂(九十四) 穂(九十五) 穂(九十六) 穂(九十七) 穂(九十八) 穂(九十九) 穂(百)

④ 粟

粟の(一) 同(二) 穂(三) 芒(四) の(五) 実(六) の(七) 者(八) の(九) 穂(十) の(十一) 穂(十二) の(十三) 穂(十四) の(十五) 穂(十六) の(十七) 穂(十八) の(十九) 穂(二十) の(二十一) 穂(二十二) の(二十三) 穂(二十四) の(二十五) 穂(二十六) の(二十七) 穂(二十八) の(二十九) 穂(三十) の(三十一) 穂(三十二) の(三十三) 穂(三十四) の(三十五) 穂(三十六) の(三十七) 穂(三十八) の(三十九) 穂(四十) の(四十一) 穂(四十二) の(四十三) 穂(四十四) の(四十五) 穂(四十六) の(四十七) 穂(四十八) の(四十九) 穂(五十) の(五十一) 穂(五十二) の(五十三) 穂(五十四) の(五十五) 穂(五十六) の(五十七) 穂(五十八) の(五十九) 穂(六十) の(六十一) 穂(六十二) の(六十三) 穂(六十四) の(六十五) 穂(六十六) の(六十七) 穂(六十八) の(六十九) 穂(七十) の(七十一) 穂(七十二) の(七十三) 穂(七十四) の(七十五) 穂(七十六) の(七十七) 穂(七十八) の(七十九) 穂(八十) の(八十一) 穂(八十二) の(八十三) 穂(八十四) の(八十五) 穂(八十六) の(八十七) 穂(八十八) の(八十九) 穂(九十) の(九十一) 穂(九十二) の(九十三) 穂(九十四) の(九十五) 穂(九十六) の(九十七) 穂(九十八) の(九十九) 穂(百)

⑤ 毛(一) 千(二) ア(三) ハ(四) 統

粟の(一) 同(二) 穂(三) 芒(四) の(五) 実(六) の(七) 者(八) の(九) 穂(十) の(十一) 穂(十二) の(十三) 穂(十四) の(十五) 穂(十六) の(十七) 穂(十八) の(十九) 穂(二十) の(二十一) 穂(二十二) の(二十三) 穂(二十四) の(二十五) 穂(二十六) の(二十七) 穂(二十八) の(二十九) 穂(三十) の(三十一) 穂(三十二) の(三十三) 穂(三十四) の(三十五) 穂(三十六) の(三十七) 穂(三十八) の(三十九) 穂(四十) の(四十一) 穂(四十二) の(四十三) 穂(四十四) の(四十五) 穂(四十六) の(四十七) 穂(四十八) の(四十九) 穂(五十) の(五十一) 穂(五十二) の(五十三) 穂(五十四) の(五十五) 穂(五十六) の(五十七) 穂(五十八) の(五十九) 穂(六十) の(六十一) 穂(六十二) の(六十三) 穂(六十四) の(六十五) 穂(六十六) の(六十七) 穂(六十八) の(六十九) 穂(七十) の(七十一) 穂(七十二) の(七十三) 穂(七十四) の(七十五) 穂(七十六) の(七十七) 穂(七十八) の(七十九) 穂(八十) の(八十一) 穂(八十二) の(八十三) 穂(八十四) の(八十五) 穂(八十六) の(八十七) 穂(八十八) の(八十九) 穂(九十) の(九十一) 穂(九十二) の(九十三) 穂(九十四) の(九十五) 穂(九十六) の(九十七) 穂(九十八) の(九十九) 穂(百)

新

新

白豆蔻

○白豆蔻 積穀類 性温 味甘 入心脾

能化食 消痰 止嘔 除水 治心胃氣痛 霍亂吐瀉

及小兒疳積 肚腹脹滿 泄瀉 痢疾 痰涎壅塞

中風痰厥 喉痛 牙疳 疔瘡 疥癩 諸瘡

○白豆蔻

○白豆蔻 積穀類 性温 味甘 入心脾 能化食 消痰 止嘔 除水 治心胃氣痛 霍亂吐瀉 及小兒疳積 肚腹脹滿 泄瀉 痢疾 痰涎壅塞 中風痰厥 喉痛 牙疳 疔瘡 疥癩 諸瘡

○白豆蔻 積穀類 性温 味甘 入心脾 能化食 消痰 止嘔 除水 治心胃氣痛 霍亂吐瀉 及小兒疳積 肚腹脹滿 泄瀉 痢疾 痰涎壅塞 中風痰厥 喉痛 牙疳 疔瘡 疥癩 諸瘡

性温 味甘 入心脾 能化食 消痰 止嘔 除水 治心胃氣痛 霍亂吐瀉 及小兒疳積 肚腹脹滿 泄瀉 痢疾 痰涎壅塞 中風痰厥 喉痛 牙疳 疔瘡 疥癩 諸瘡

○白豆蔻

○白豆蔻 積穀類 性温 味甘 入心脾 能化食 消痰 止嘔 除水 治心胃氣痛 霍亂吐瀉 及小兒疳積 肚腹脹滿 泄瀉 痢疾 痰涎壅塞 中風痰厥 喉痛 牙疳 疔瘡 疥癩 諸瘡

○白豆蔻 積穀類 性温 味甘 入心脾 能化食 消痰 止嘔 除水 治心胃氣痛 霍亂吐瀉 及小兒疳積 肚腹脹滿 泄瀉 痢疾 痰涎壅塞 中風痰厥 喉痛 牙疳 疔瘡 疥癩 諸瘡

○白豆蔻 積穀類 性温 味甘 入心脾 能化食 消痰 止嘔 除水 治心胃氣痛 霍亂吐瀉 及小兒疳積 肚腹脹滿 泄瀉 痢疾 痰涎壅塞 中風痰厥 喉痛 牙疳 疔瘡 疥癩 諸瘡

○白豆蔻 積穀類 性温 味甘 入心脾 能化食 消痰 止嘔 除水 治心胃氣痛 霍亂吐瀉 及小兒疳積 肚腹脹滿 泄瀉 痢疾 痰涎壅塞 中風痰厥 喉痛 牙疳 疔瘡 疥癩 諸瘡

○白豆蔻 積穀類 性温 味甘 入心脾 能化食 消痰 止嘔 除水 治心胃氣痛 霍亂吐瀉 及小兒疳積 肚腹脹滿 泄瀉 痢疾 痰涎壅塞 中風痰厥 喉痛 牙疳 疔瘡 疥癩 諸瘡

○白豆蔻 積穀類 性温 味甘 入心脾 能化食 消痰 止嘔 除水 治心胃氣痛 霍亂吐瀉 及小兒疳積 肚腹脹滿 泄瀉 痢疾 痰涎壅塞 中風痰厥 喉痛 牙疳 疔瘡 疥癩 諸瘡

○白豆蔻 積穀類 性温 味甘 入心脾 能化食 消痰 止嘔 除水 治心胃氣痛 霍亂吐瀉 及小兒疳積 肚腹脹滿 泄瀉 痢疾 痰涎壅塞 中風痰厥 喉痛 牙疳 疔瘡 疥癩 諸瘡

○白豆蔻 積穀類 性温 味甘 入心脾 能化食 消痰 止嘔 除水 治心胃氣痛 霍亂吐瀉 及小兒疳積 肚腹脹滿 泄瀉 痢疾 痰涎壅塞 中風痰厥 喉痛 牙疳 疔瘡 疥癩 諸瘡

多量の肥料を用いる

多量に肥料

エントロピーの増大

世に於ける肥料の用は、作物にシテ

是の如く、肥料の用は、又、肥料の用は、

行ふる、肥料の用は、又、肥料の用は、

トナリ、肥料の用は、又、肥料の用は、

トナリ、肥料の用は、又、肥料の用は、

肥料の用は、又、肥料の用は、

トナリ、肥料の用は、又、肥料の用は、

肥料の用は、又、肥料の用は、

世に於ける肥料の用は、作物にシテ

是の如く、肥料の用は、又、肥料の用は、

行ふる、肥料の用は、又、肥料の用は、

トナリ、肥料の用は、又、肥料の用は、

トナリ、肥料の用は、又、肥料の用は、

トナリ、肥料の用は、又、肥料の用は、

世に於ける肥料の用は、作物にシテ

是の如く、肥料の用は、又、肥料の用は、

行ふる、肥料の用は、又、肥料の用は、

トナリ、肥料の用は、又、肥料の用は、

トナリ、肥料の用は、又、肥料の用は、

アノコトヲ

今形如 密林ノ 密林ノ 密林ノ 密林ノ

自生ノ 密林ノ 密林ノ 密林ノ 密林ノ

ノ 密林ノ 密林ノ 密林ノ 密林ノ

ノ 密林ノ 密林ノ 密林ノ 密林ノ

ノ 密林ノ 密林ノ 密林ノ 密林ノ

ノ 密林ノ 密林ノ 密林ノ 密林ノ

ノ 密林ノ 密林ノ 密林ノ 密林ノ

ノ 密林ノ 密林ノ 密林ノ 密林ノ

ノ 密林ノ 密林ノ 密林ノ 密林ノ

ノ 密林ノ 密林ノ 密林ノ 密林ノ

ノ 密林ノ 密林ノ 密林ノ 密林ノ

ノ 密林ノ 密林ノ 密林ノ 密林ノ

ノ 密林ノ 密林ノ 密林ノ 密林ノ

ノ 密林ノ 密林ノ 密林ノ 密林ノ

ノ 密林ノ 密林ノ 密林ノ 密林ノ

ノ 密林ノ 密林ノ 密林ノ 密林ノ

ノ 密林ノ 密林ノ 密林ノ 密林ノ

ノ 密林ノ 密林ノ 密林ノ 密林ノ

ノ 密林ノ 密林ノ 密林ノ 密林ノ

ノ 密林ノ 密林ノ 密林ノ 密林ノ

ノ 密林ノ 密林ノ 密林ノ 密林ノ

鳥

日

身大十 鳥是鴨

菊科の鳥 鳥野 山形 近道 白甘

鳥野 鳥野 鳥野 鳥野 鳥野

鳥野 鳥野 鳥野 鳥野 鳥野

鳥野 鳥野 鳥野 鳥野

鳥野 鳥野 鳥野 鳥野

鳥野 鳥野 鳥野 鳥野

鳥野 鳥野 鳥野 鳥野

鳥野 鳥野 鳥野

鳥野 鳥野 鳥野 鳥野 鳥野 鳥野 鳥野 鳥野 鳥野 鳥野 鳥野

鳥野 鳥野 鳥野 鳥野 鳥野 鳥野 鳥野 鳥野 鳥野 鳥野 鳥野

鳥野 鳥野 鳥野 鳥野 鳥野 鳥野 鳥野 鳥野 鳥野 鳥野 鳥野

鳥野 鳥野 鳥野 鳥野 鳥野 鳥野 鳥野 鳥野 鳥野 鳥野 鳥野

鳥野 鳥野 鳥野 鳥野 鳥野 鳥野 鳥野 鳥野 鳥野 鳥野 鳥野

鳥野 鳥野 鳥野 鳥野 鳥野 鳥野 鳥野 鳥野 鳥野 鳥野 鳥野

鳥野 鳥野 鳥野 鳥野 鳥野 鳥野 鳥野 鳥野 鳥野 鳥野 鳥野

鳥野 鳥野 鳥野 鳥野 鳥野 鳥野 鳥野 鳥野 鳥野 鳥野 鳥野

鳥野 鳥野 鳥野 鳥野 鳥野 鳥野 鳥野 鳥野 鳥野 鳥野 鳥野

鳥野

鳥野

用舟葉葉明の可河の梓の舟用ハス

見
クらのハス
成
七

天南の舟の葉葉明の可河の梓の舟用ハス

葉葉明の可河の梓の舟用ハス

葉葉明の可河の梓の舟用ハス

葉葉明の可河の梓の舟用ハス

葉葉明の可河の梓の舟用ハス

葉葉明の可河の梓の舟用ハス

葉葉明の可河の梓の舟用ハス

葉葉明の可河の梓の舟用ハス

葉葉明の可河の梓の舟用ハス

葉葉明の可河の梓の舟用ハス

葉葉明の可河の梓の舟用ハス

葉葉明の可河の梓の舟用ハス

葉葉明の可河の梓の舟用ハス

葉葉明の可河の梓の舟用ハス

葉葉明の可河の梓の舟用ハス

出
葉
葉

葉葉明の可河の梓の舟用ハス

葉葉明の可河の梓の舟用ハス

定り

素素根ノ多クナリ根細ク是ノ
素素根ノ多クナリ根細ク是ノ
素素根ノ多クナリ根細ク是ノ

素素根ノ多クナリ根細ク是ノ
素素根ノ多クナリ根細ク是ノ
素素根ノ多クナリ根細ク是ノ

素素根ノ多クナリ根細ク是ノ

素素根ノ多クナリ根細ク是ノ

素素根ノ多クナリ根細ク是ノ

素素根ノ多クナリ根細ク是ノ

素素根ノ多クナリ根細ク是ノ

素素根ノ多クナリ根細ク是ノ

素素根ノ多クナリ根細ク是ノ

素素根ノ多クナリ根細ク是ノ

素素根ノ多クナリ根細ク是ノ

素素根ノ多クナリ根細ク是ノ

○ 根 葉 莖 節 花 實

○ 根 葉 莖 節 花 實

○ 根 葉 莖 節 花 實

○ 根 葉 莖 節 花 實

○ 根 葉 莖 節 花 實

○ 根 葉 莖 節 花 實

○ 根 葉 莖 節 花 實

○ 根 葉 莖 節 花 實

○ 根 葉 莖 節 花 實

○ 根 葉 莖 節 花 實

○ 根 葉 莖 節 花 實

○ 根 葉 莖 節 花 實

○ 根 葉 莖 節 花 實

○ 根 葉 莖 節 花 實

○ 根 葉 莖 節 花 實

○ 根 葉 莖 節 花 實

○ 根 葉 莖 節 花 實

○ 根 葉 莖 節 花 實

○ 根 葉 莖 節 花 實

○ 根 葉 莖 節 花 實

コカヲラ○ 種類ニシテ 正はヨ名ニトス 九美鳥子也

飛中 冬 採リテ

其花肥地 死田 味ニ香ニナリ

醉酒 精神ニ入リ 肝 乾シテ貯ル

最 味 乾シ

本草綱目

コカヲラ○ 種類ニシテ 正はヨ名ニトス 九美鳥子也

其花肥地 死田 味ニ香ニナリ

醉酒 精神ニ入リ 肝 乾シテ貯ル

最 味 乾シ

コカヲラ○ 種類ニシテ 正はヨ名ニトス 九美鳥子也

飛中 冬 採リテ

其花肥地 死田 味ニ香ニナリ

醉酒 精神ニ入リ 肝 乾シテ貯ル

最 味 乾シ

品名 菘菜
① 菘菜の葉は、根を切らずに、葉を摘み、塩を揉み、水で洗って、干す。干した葉は、油で炒め、醤油をかける。② 菘菜の葉は、根を切らずに、葉を摘み、塩を揉み、水で洗って、干す。干した葉は、油で炒め、醤油をかける。③ 菘菜の葉は、根を切らずに、葉を摘み、塩を揉み、水で洗って、干す。干した葉は、油で炒め、醤油をかける。

品名 菘菜
① 菘菜の葉は、根を切らずに、葉を摘み、塩を揉み、水で洗って、干す。干した葉は、油で炒め、醤油をかける。② 菘菜の葉は、根を切らずに、葉を摘み、塩を揉み、水で洗って、干す。干した葉は、油で炒め、醤油をかける。③ 菘菜の葉は、根を切らずに、葉を摘み、塩を揉み、水で洗って、干す。干した葉は、油で炒め、醤油をかける。

品名 菘菜
① 菘菜の葉は、根を切らずに、葉を摘み、塩を揉み、水で洗って、干す。干した葉は、油で炒め、醤油をかける。② 菘菜の葉は、根を切らずに、葉を摘み、塩を揉み、水で洗って、干す。干した葉は、油で炒め、醤油をかける。③ 菘菜の葉は、根を切らずに、葉を摘み、塩を揉み、水で洗って、干す。干した葉は、油で炒め、醤油をかける。

品名 菘菜
① 菘菜の葉は、根を切らずに、葉を摘み、塩を揉み、水で洗って、干す。干した葉は、油で炒め、醤油をかける。② 菘菜の葉は、根を切らずに、葉を摘み、塩を揉み、水で洗って、干す。干した葉は、油で炒め、醤油をかける。③ 菘菜の葉は、根を切らずに、葉を摘み、塩を揉み、水で洗って、干す。干した葉は、油で炒め、醤油をかける。

乾し

又雪付りて乾し

のり子とて

昔者、秋、霜、降、田、耕、作、

リ、

秋、霜、降、田、耕、作、

子とて

事者、

秋、霜、降、田、耕、作、

秋、霜、降、田、耕、作、

秋、霜、降、田、耕、作、

子とて

秋、霜、降、田、耕、作、

秋、霜、降、田、耕、作、

秋、霜、降、田、耕、作、

秋、霜、降、田、耕、作、

秋、霜、降、田、耕、作、

秋、霜、降、田、耕、作、

秋、霜、降、田、耕、作、

秋、霜、降、田、耕、作、

秋、霜、降、田、耕、作、

鳴又... 鳴又... 鳴又...

今口... 今口... 今口...

水田... 水田... 水田...

... 水田... 水田...

... 水田... 水田...

... 水田... 水田...

... 水田... 水田...

... 水田... 水田...

... 水田... 水田...

... 水田... 水田...

二七三... 二七三...

... 水田... 水田...

... 水田... 水田...

... 水田... 水田...

... 水田... 水田...

... 水田... 水田...

... 水田... 水田...

... 水田... 水田...

蘇葉無毒味甘辛 辛者香

反唇形科 蘇葉 蘇子 蘇木 蘇合 蘇合油 蘇合香 蘇合乳 蘇合膏 蘇合丹 蘇合散 蘇合丸 蘇合錠 蘇合片 蘇合糖 蘇合蜜 蘇合膏 蘇合丹 蘇合散 蘇合丸 蘇合錠 蘇合片 蘇合糖 蘇合蜜

蘇子 蘇木 蘇合 蘇合油 蘇合香 蘇合乳 蘇合膏 蘇合丹 蘇合散 蘇合丸 蘇合錠 蘇合片 蘇合糖 蘇合蜜

蘇合 蘇合油 蘇合香 蘇合乳 蘇合膏 蘇合丹 蘇合散 蘇合丸 蘇合錠 蘇合片 蘇合糖 蘇合蜜

蘇合油 蘇合香 蘇合乳 蘇合膏 蘇合丹 蘇合散 蘇合丸 蘇合錠 蘇合片 蘇合糖 蘇合蜜

蘇合香 蘇合乳 蘇合膏 蘇合丹 蘇合散 蘇合丸 蘇合錠 蘇合片 蘇合糖 蘇合蜜

蘇合乳 蘇合膏 蘇合丹 蘇合散 蘇合丸 蘇合錠 蘇合片 蘇合糖 蘇合蜜

蘇合膏 蘇合丹 蘇合散 蘇合丸 蘇合錠 蘇合片 蘇合糖 蘇合蜜

蘇合丹 蘇合散 蘇合丸 蘇合錠 蘇合片 蘇合糖 蘇合蜜

蘇合散 蘇合丸 蘇合錠 蘇合片 蘇合糖 蘇合蜜

蘇合丸 蘇合錠 蘇合片 蘇合糖 蘇合蜜

蘇合錠 蘇合片 蘇合糖 蘇合蜜

蘇合片 蘇合糖 蘇合蜜

蘇合蜜

養護 カシハシ ①

菓 カシハシ 部 瓜

日向の地産、柿作好、カシハシ 其果、味よし、カシハシ

熟すと、カシハシ 糖の過る、又一、塩漬、カシハシ 糖の過る、カシハシ

十一、カシハシ 部 瓜

カキ

日向の地産、柿作好、カシハシ 其果、味よし、カシハシ

熟すと、カシハシ 糖の過る、又一、塩漬、カシハシ 糖の過る、カシハシ

十二、カシハシ 部 瓜

カキ

十三、カシハシ 部 瓜

カキ

日向の地産、柿作好、カシハシ 其果、味よし、カシハシ

④

日向の地産、柿作好、カシハシ 其果、味よし、カシハシ

日向の地産、柿作好、カシハシ 其果、味よし、カシハシ

日向の地産、柿作好、カシハシ 其果、味よし、カシハシ

カキ

日向の地産、柿作好、カシハシ 其果、味よし、カシハシ

日向の地産、柿作好、カシハシ 其果、味よし、カシハシ

日向の地産、柿作好、カシハシ 其果、味よし、カシハシ

日向の地産、柿作好、カシハシ 其果、味よし、カシハシ

日向の地産、柿作好、カシハシ 其果、味よし、カシハシ

十四、カシハシ 部 瓜

カキ

十五、カシハシ 部 瓜

カキ

神皇正統記

ノヨウノ麦

聖蹟ノ一ノ年ノ枝

梅ノ枝ノ下ノ砂中ノ

聖蹟ノ一ノ年ノ枝

梅ノ枝ノ下ノ砂中ノ

聖蹟ノ一ノ年ノ枝

梅ノ枝ノ下ノ砂中ノ

聖蹟ノ一ノ年ノ枝

梅ノ枝ノ下ノ砂中ノ

此ノ年ノ

ノヨウノ麦

海ノ枝ノ下ノ砂中ノ

聖蹟ノ一ノ年ノ枝

梅ノ枝ノ下ノ砂中ノ

聖蹟ノ一ノ年ノ枝

梅ノ枝ノ下ノ砂中ノ

聖蹟ノ一ノ年ノ枝

梅ノ枝ノ下ノ砂中ノ

聖蹟ノ一ノ年ノ枝

海菜類

(2)

海菜類 初葉菜

海菜類

海菜類

植物 南海諸島に産す

海菜類

海菜類

菜類 附て生え、莖が

海菜類

海菜類

海菜類 海に深き所に因り

海菜類

海菜類

海菜類 葉が軟

海菜類

海菜類

海菜類 似て生え、又西北海に

海菜類

海菜類

海菜類 出え

海菜類

海菜類

海菜類 似て生え、又西北海に

海菜類

海菜類

海菜類 似て生え、又西北海に

海菜類

海菜類

海菜類 似て生え、又西北海に

海菜類

海菜類

海菜類 似て生え、又西北海に

海菜類

海菜類

海菜類 似て生え、又西北海に

海菜類

海菜類

海菜類 似て生え、又西北海に

海菜類

海菜類

海菜類 似て生え、又西北海に

海菜類

海菜類

海菜類 似て生え、又西北海に

海菜類

海菜類

海菜類 似て生え、又西北海に

海菜類

海菜類

海菜類 似て生え、又西北海に

海菜類 海菜類

海菜類

海菜類

海菜類

海菜類

海菜類

海菜類 海菜類

海菜類

海菜類

海菜類

海菜類

海菜類

海菜類

海菜類

海菜類

海菜類

海菜類

海菜類

海菜類

海菜類

海菜類

海菜類

海菜類

海菜類

海菜類

海菜類

海菜類

海菜類

海菜類

海菜類

海菜類

海菜類

海菜類

海菜類

海菜類

海菜類

海菜類

海菜類

海菜類

石 考 辛 熱

山 其 別 山 葉

十字の形 石 考 辛 熱 諸 國 之 産 物

其 根 石 考 辛 熱 諸 國 之 産 物

其 根 石 考 辛 熱 諸 國 之 産 物

其 根 石 考 辛 熱 諸 國 之 産 物

其 根 石 考 辛 熱

木 之 考 辛 熱

十字の形 石 考 辛 熱

其 根 石 考 辛 熱

其 根 石 考 辛 熱

其 根 石 考 辛 熱

其 根 石 考 辛 熱

其 根 石 考 辛 熱

其 根 石 考 辛 熱

其 根 石 考 辛 熱

其 根 石 考 辛 熱

沙州

鹽池

鹽池

鹽池

鹽池

鹽池

鹽池

鹽池

鹽池

鹽池

鹽池

鹽池

鹽池

鹽池

鹽池

鹽池

鹽池

鹽池

鹽池

鹽池

沙州

鹽池

鹽池

鹽池

鹽池

鹽池

鹽池

鹽池

鹽池

鹽池

鹽池

鹽池

鹽池

鹽池

鹽池

鹽池

鹽池

鹽池

鹽池

鹽池

甘香 味 甘香 味 甘香 味 甘香 味 甘香 味
自生 又 自生 又 自生 又 自生 又 自生 又 自生 又
下 神 下 神 下 神 下 神 下 神 下 神 下 神

織 形 織 形 織 形 織 形 織 形 織 形 織 形 織 形
所 長 所 長 所 長 所 長 所 長 所 長 所 長 所 長 所 長 所 長
ル 子 採 ル 子 採 ル 子 採 ル 子 採 ル 子 採 ル 子 採 ル 子 採
ア リ ア リ ア リ ア リ ア リ ア リ ア リ ア リ ア リ ア リ

澤 江 澤 江 澤 江 澤 江 澤 江 澤 江 澤 江 澤 江 澤 江 澤 江
メ 方

葛 粉 葛 粉 葛 粉 葛 粉 葛 粉 葛 粉 葛 粉 葛 粉 葛 粉 葛 粉
イ 効 イ 効 イ 効 イ 効 イ 効 イ 効 イ 効 イ 効 イ 効 イ 効
イ ノ 草 イ ノ 草 イ ノ 草 イ ノ 草 イ ノ 草 イ ノ 草 イ ノ 草 イ ノ 草

葉 粉 葉 粉 葉 粉 葉 粉 葉 粉 葉 粉 葉 粉 葉 粉 葉 粉 葉 粉
同 行 類 同 行 類 同 行 類 同 行 類 同 行 類 同 行 類 同 行 類 同 行 類
イ ノ 草 イ ノ 草 イ ノ 草 イ ノ 草 イ ノ 草 イ ノ 草 イ ノ 草 イ ノ 草

イ ノ 草

イ ノ 草

其葉如...

根生...

花...

果...

實...

種...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

厚形... 粉... 力... 用... 穂... 用...

...

...

梅の白梅は花の白く梅の實は酸味ありて七八分は酸味あり

赤梅は花の赤く梅の實は酸味ありて七八分は酸味あり

青梅は梅の實を未だ熟せずして採りて乾し之を青梅と云ふ

梅の皮は酸味ありて七八分は酸味あり

梅の葉は酸味ありて七八分は酸味あり

梅の實は酸味あり

梅の實を乾し之を梅干と云ふ

梅の實を乾し之を梅干と云ふ

梅の實を乾し之を梅干と云ふ

梅の實を乾し之を梅干と云ふ

梅の實を乾し之を梅干と云ふ

梅の實を乾し之を梅干と云ふ

梅の實を乾し之を梅干と云ふ

seedtime, May. 8. Day

S. Ma. 18. Cp.

五

七

三

二

ヲカホ

一ノキヨリ初ツレ候シ三四ノ後雨リ出シ

日乾カシ草ノ萌ス比ニ下種スシ苗セリ寸丈付之四

株ヲ束スリ柱ニスシ

ワバ野草ニ秋ニ種ス

アリ野草ナツアハハニ種アリナツアハハニ種アリ

トヤキツツハナツアハハニ種アリ

キト黍 五月ノ二種アリ林カマルツモキキヒトシ

種ナラハハニ種アリ

夕ラキツツハナツアハハニ種アリ

丈低リシ種ノ下ヨリ種ニカムアハハニ種アリ

博物考

早々夜々子なり

二 穢 水陸二輪より 露中ノ由キ者ナレ地

馬の蹄より下地ニク露ニテエナリ

六 田百條より 田の隅より 田の隅より 田の隅より

上向地ノ下地

カワキチカキ 赤白露ノ三者アリ 妻ヲ

下地ニテニシ 下地ニテニシ 下地ニテニシ 下地ニテニシ

七 田の隅より 田の隅より 田の隅より 田の隅より

リ 田の隅より 田の隅より 田の隅より 田の隅より

云 田の隅より

十

下地ニテニシ 下地ニテニシ 下地ニテニシ 下地ニテニシ

田の隅より 田の隅より 田の隅より 田の隅より

田の隅より 田の隅より 田の隅より 田の隅より

田の隅より 田の隅より 田の隅より 田の隅より

二 田の隅より 田の隅より 田の隅より 田の隅より

田の隅より 田の隅より 田の隅より 田の隅より

田の隅より 田の隅より 田の隅より 田の隅より

三

田の隅より 田の隅より 田の隅より 田の隅より

田の隅より 田の隅より 田の隅より 田の隅より

田の隅より 田の隅より 田の隅より 田の隅より

廿

廿二

三月ノ末ノ下種スニ三月ノ時種ニ種

廿

廿三

秋ノ彼岸ノ種ニ種入ル

廿

廿四

九月ノ種ニ種入ル

廿

廿五

二月ノ種ニ種入ル

廿

廿六

秋ノ彼岸ノ種ニ種入ル

廿

廿七

根ヲ取ル時申心ツサレク残レテ種ニ種

ノ種ニ種入ル

廿

廿八

十一月ノ種ニ種入ル

カリキト種ニ種入ル

用トス。〇ワキキト種ニ種入ル

此ノ故ナリ又秋ノ種ニ種入ル

此ノ故ナリ又秋ノ種ニ種入ル

此ノ故ナリ又秋ノ種ニ種入ル

廿九

十一月ノ種ニ種入ル

三十

十二月ノ種ニ種入ル

此ノ故ナリ又秋ノ種ニ種入ル

三十一

十二月ノ種ニ種入ル

節

終

世二

小葉の身は赤サシ子ク枝スリ由リス
三四のしる根シク枝ユスシ根ノ

肥ユルツ枝りねウマシ

世三

初夏山根ツ根ツ枝ニ多根

ノセス比接ク名ウシ

世四

木陰ニ植エ肥料ツ每モス細キ産リシメシ

ツリムシ無憂^葉結スルツ

世五

山地ヨリ産クハクツ地ニシテハ中ツ

年約シ伝フ野ニ枝ハ細カク産クテ多クニ産ク

葉ハ世ニ付ツリ甲リ葉ツ切クニシテツ結スルツ

世六

ニリ社地ニ常ク甲リ甲リシク強クシ

葉^{イモ}ニシ^{イモ}○葉^{イモ}ツ^{イモ}枝^{イモ}多クシ

○葉^{イモ}ツ^{イモ}枝^{イモ}多クシ

○葉^{イモ}ツ^{イモ}枝^{イモ}多クシ

○葉^{イモ}ツ^{イモ}枝^{イモ}多クシ

○葉^{イモ}ツ^{イモ}枝^{イモ}多クシ

世七

根ハ多クシ

○葉^{イモ}ツ^{イモ}枝^{イモ}多クシ

○葉^{イモ}ツ^{イモ}枝^{イモ}多クシ

五

五

五

五

草部

枇杷

枇杷之皮は甘く、果は酸甘、二種あり

葉は光沢あり、サクラシラ葉に似たり

櫻桃

ホウチヤウツツトクニ、果は酸味あり

○果は紅紫、二種あり、ウツツトクニ

ジテ久野ニ

櫻桃

山城守は名をサリ、木は土に少く

言はる、如く高き、葉は光沢あり、花は

人妻の御持はる、花は紫に似たり

櫻桃

花は紫に似たり、今諸所に種を置く

かきこはる、葉は光沢あり、花は紫に似たり

葉は、花は紫、又葉は光沢あり、花は紫に似たり

花は、葉は光沢あり、花は紫に似たり

花は、葉は光沢あり、花は紫に似たり

花は、葉は光沢あり、花は紫に似たり

花は、葉は光沢あり、花は紫に似たり

花は、葉は光沢あり、花は紫に似たり

花は、葉は光沢あり、花は紫に似たり

花は、葉は光沢あり、花は紫に似たり

櫻桃

草部

草部

五

五

由蟻類

ゴマ

胡麻

古考科一年草陸田作物種子ニ黒白赤ノ三色アリ炒テ香料ニ用油ヲ搾リテ食油ト爲ス当ホ燈油ニ塗ル

カサ

大麻

葛科一年草陸田作物秋末幹ヨリ纖維ヲ採リ幹ハ燒テ火藥ニ用并種子ニ香料香料又ハ工業用トス

ソキ

山藤

藤科多年草木冬用枝梢ヲ截リ蒸シテ外皮ヲ剥キ流ルニ浸シ纖維質ヲ採リテ粘液物ヲ合セ作用ヲカヘテ紙ヲ製ス

アサ

山藤

伏牛科多年草木枝幹ニ根ノ粗皮ヲ去リ内皮ヲ剥キテ量ニ準テトナス又其根皮ヲ煎リテ煎液ノ使ニ事

アサ 山藤 藤科一年草水陸田作物種子ニ黒白赤ノ三色アリ炒テ香料ニ用油ヲ搾リテ食油ト爲ス当ホ燈油ニ塗ル

セウキ類

コブシ

辛夷

本蘭科多年草木山野ニ自生アリ春新葉ニ先枝梢白花ツ同ク成香曼スベシ又オホコブシウラサキコブシ等アリ

ワケ用類

ワケ用類

毛茛科多年草木山野ニ自生アリ二月八月根ヲ採リ採リ陰乾シ野ニ常用ニ供ス健胃強壯ノ効アリ又其根ノ除毒トス

ワケ用類

セレンニサウ

大葉

毛茛科多年草木山野ニ自生アリ春新葉ニ先枝梢ニ生シ秋白花ツ同ク根葉共に毒アリ花葉ヲ嗜ソハ甚クシク傷損ス

木竹類

ホウノキ

浮腫痛

天牛科

多塩漬し或ハ煤キ又ハ種子ヲ榨リテ燈油ヲ製シ菜油ニ代用ス

根菜類

ダイコン

蓮藕

十字科ニ主陸田作物播種ノ早晚ニ因リ同時盡キズト雖ハ冬月ヲ好季トナス生薑共ニ食シ或ハ醃漬シ或ハ日乾ス

ハスノ子

蓮藕

蓬科宿根草水田作物花ニ紅白アリ紅ノ根ハ軟ニシテ白ノ根ハ硬ナリ味ニ赤随テ厚薄アリ煤ニ調味シ又ハ煮食ス

花菜類

リヤウリギク

甘菊

茶科宿根草園芸植物秋冬ノ交花瓣ヲ摘テ煤キ又ハ蒸

シ乾シテ貯フベシ用井ニ時熱湯ニ浸シ酢醬ニ調和シ食用トス

蒴菓類

タウナス

南瓜

葫蘆科ニ主陸田作物果ヲ煮テ熟シ或ハ煤キ或ハ生ヲ薄片シ酢醬ニ調食シ又ハ全果ヲ日ニ乾シテ久シク貯フベシ

菌菌類

シイタケ

香蕈

芝栴科寄生植物柯樹柵ノ朽株ニ生ス或ハ人工ニ因テ出スル者アリ煮或ハ焼テ食シ或ハ乾シテ貯蔵スベシ

海藻類

アサクサノリ

苺菜

海藻科 寄生植物 冬春ノ交鹹水中ノ木石ニ寄生ス 同時
生ナルヲ漉テ紙片ノ如クシ日乾シテ粥フベク又ハ生
食スベシ

香辛類

山萮菜

ワサビ
十字科 越年草 陸田作物 自生ハ諸國ニ名産多シ 生根ヲ
摺テ香辛料トシ又ハ葉莖ヲ煤テ糟粕ニ漬ケ或ハ酢醬
ニ調合ス

果物類

木梅

ウメ 又ウメ
蔷薇科 落葉果樹植物 果ヲ火ニ蒸スルヲ烏梅ト云ヒ 藍
ニ鹹スルヲ白梅ト云ヒ 糖ニ和スルヲ糖梅ト云フ 尚ホ
製品多シ

桃

蔷薇科 落葉果樹植物 果ヲ火ニ蒸スルヲ烏梅ト云ヒ 藍
ニ鹹スルヲ白梅ト云ヒ 糖ニ和スルヲ糖梅ト云フ 尚ホ
製品多シ

蔷薇科 落葉果樹植物 所在國卷々土地ノ肥瘠ニ因リ 果
ニナリ味ニシテ石ナリ 清國種水蜜桃ノ如キハ味ニ
シテ肉ナリ

夕子ナレアリノ根

薯蕷科 落葉果樹植物 陸田作物 陸田中森園ノ特産ナリ 果ノ大サ七
ハ分形 鹿梨ニ似テ核ナリ 形ヲ具ヘリ 味ニ甘ニシ
テ酸ナリ

澱粉類

葛

クズ
葛科 蔓生宿根草 山野ニ自生アリ 大和ノ茅野ヲ名産ト
ス 冬月根ヲ採リ搗爛シ生汁ヲ搾リ再三沉澱シテ葛粉
ヲ製造ス

土團兜

ホドイモ
葛科 蔓生塊根植物 各地ニ自生アリ 冬月塊根ヲ採リ挫

キテ泥ノ如クナラシメ水中ニ沉澱シ滓渣ヲ去リテ澱
粉ヲ製ス

畜食類

ウマコヤシ

苜蓿

薑科越々草地方ニ因テハ自生ノ如ク繁殖セリ牛馬
羊ノ牧場ニ種ヲ下シ滿地ニ繁茂セシメバ牧畜上頗ル
利益多シ

清娛類

千ヤ

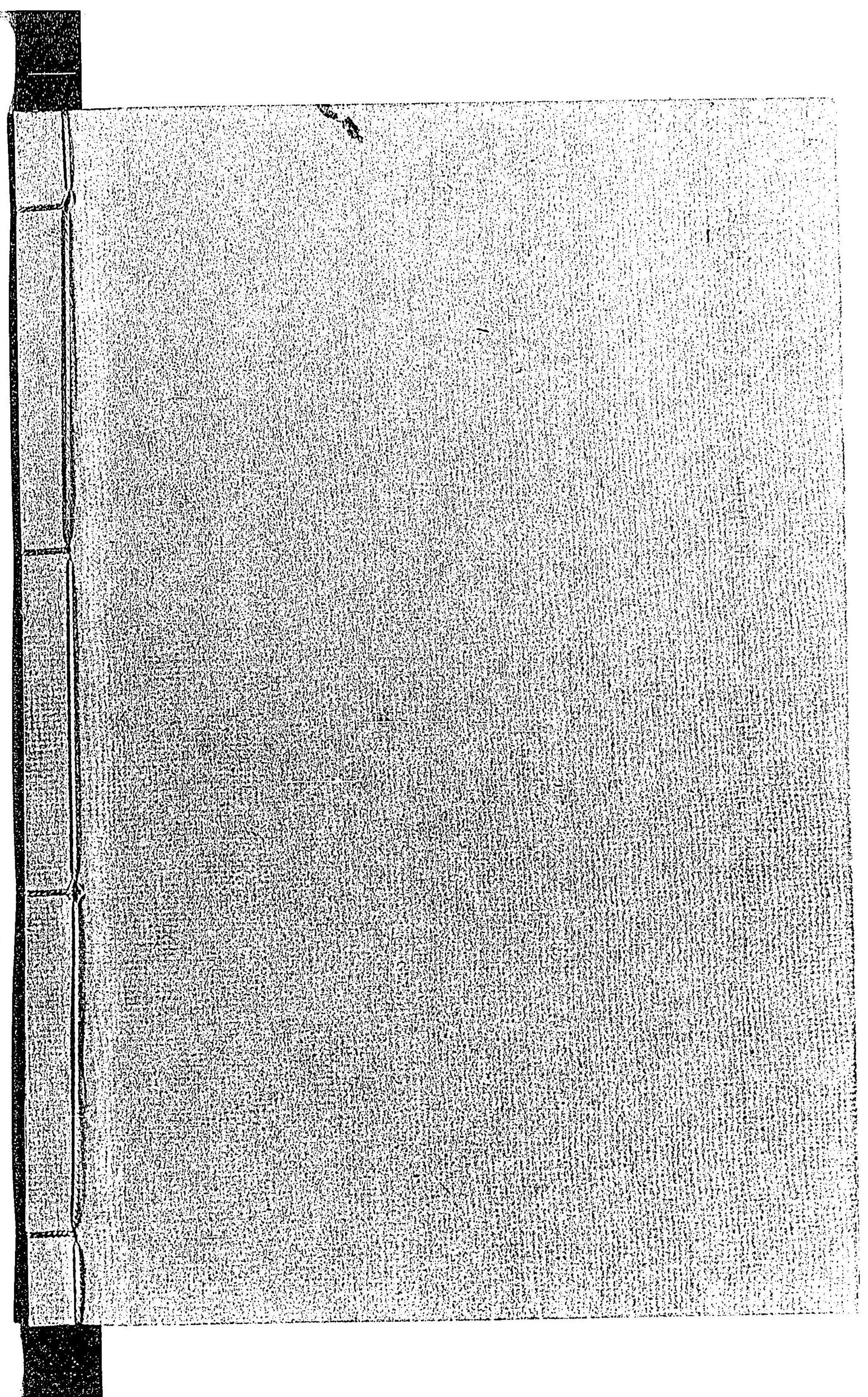
茗

茶科常緑灌木野生種生ノ二種アリ種生ヲ佳トナス春
新芽ヲ摘ミ精製シテ飲用ニ供シ又種子ヲ壓搾シテ燈
油ヲ製ス

サタウ

甘蔗

禾本科宿根草陸田作物温暖地方ニ適ス秋末莖ヲ刈リ



由端類

ゴマ 胡麻
古考科一年草陸田作物種子ニ黒白赤ノ三色アリ炒テ
香料ニ用サ油ヲ搾リテ食油トシテス當ホ燈油ニ塗ル
所用多シ

カサ

大麻

絲ニ紡キ布ニ織リ

草科一年草陸田作物秋末幹ヨリ纖維ヲ搾リ幹ハ燒
テ火藥ニ用サ種子ハ香料ニ用サ又ハ工業用トス

カウソ

楮

草科多年草常木冬月枝梢ヲ截リ蒸シテ外皮ヲ剥キ流
ルニ浸シ纖維質ヲ搾リテ粘液物ヲ食セ作用ツカヘテ
紙ヲ製ス

ソキ

山藤

伏牛科多年草常木枝幹ニ根ノ粗皮ヲ去リ内皮ヲ剥キ
テ量ニ準テトス又ハ木ノ根皮ヲ剥キ眼病ノ患ニ藥トス

アサ

或ハシラノ眼病ノ患ニ藥トス根ハ

染色類

アサ 藍
草科一年草水陸田作物種子ニ黒白赤ノ三色アリ炒テ
香料ニ用サ油ヲ搾リテ食油トシテス當ホ燈油ニ塗ル
所用多シ

カウソ

辛夷

本蘭科多年草常木山野ニ自生アリ春新葉ニ先ニ枝梢
白花ツ向ク放香ニ受スパシ又オホコブシムウサキコブ
シモアリ

カウソ

カウソ

毛茛科多年草常木山野ニ自生アリ二月八月根ヲ採
採リ陰乾シ貯ヘ常用ニ供ス健胃強壯ノ効アリ又毒多
ク傷損ス

セレン

大蓍

毛茛科多年草常木山野ニ自生アリ春新葉ニ先ニ枝梢
生シ秋白花ヲ開ク根莖ニ毒アリ花葉ヲ食シハ毒多
ク傷損ス

ホウ

浮腫

浮腫

セレン

カウソ

カウソ

カウソ